

事業番号	04 10 13	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■ 点検
事業名	保育士研修事業			担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	こども・家庭課		
	施策の総合的展開	7-2 子育て先進県の実現		E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp		
		5 地域・家庭の教育力の向上		実施期間	～		

### 1 事業の概要

目指す姿	保育所保育士等に対する研修を実施し、その資質及び児童処遇技術等の向上を目指す。		
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育の実施主体は市町村であり、保育に対する考え方や取組み方がまちまちな面がある。</li> <li>保育所に求められる役割が多様化していることに加え、保育制度自体が変革期を迎えていることから、研修会等を通じての情報共有・情報交換が必要である。</li> </ul>		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 地域で共通する問題への取組やどの地域にも共通する知識・技術の研鑽は、市町村単位より、県が広域ごと行うことにより経費が集約化されるメリットがある。	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害児等の早期発見、適切な支援の実施等のための保育士研修会の開催(参加者数650人)</li> <li>保育所における食育の推進、食物アレルギー等への適切な対応のための給食担当者研修会の開催(参加者数550人)</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		
				H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	1. 保育所一般保育士研修会の実施	直接	保育所の一般保育士を対象とした研修会(公開保育、事例発表、グループ討議など)を保健福祉事務所単位(10か所)で実施 研修内容は地域ごと必要性の高いテーマを設定	237	139	227
	2. 給食担当者研修会の実施	直接	保育所の給食担当者を対象とした研修会(調理実習、事例研究など)を保健福祉事務所単位(10か所)で実施 研修内容は地産地消など食育の推進、アレルギー対策などのテーマを設定	350	294	360
	3. 関東ブロック保育事業連絡協議会への参加	直接	年1回開催される関東ブロック保育事業連絡協議会への参加	33	33	33
	4. 保育所保育士専門研修会の実施	直接		-	-	460
			合計	620	466	1,080

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	595	620	620	1,080
	補正予算				
	合計(A)	595	620	620	1,080
	一般財源	155	152	152	396
	県債				
	国庫支出金				359
	その他	440	468	468	325
	決算額(B)	416	412	466	
概算人員数(人)	2.05	2.05	2.05	2.05	
概算人員費(C)	16,929	16,929	16,929	16,929	
概算事業費(B(A)+C)	17,345	17,341	17,395	18,009	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
保育士研修会参加人数	650	650	688	達成	650
給食担当者研修会参加人数	500	500	546	達成	500

目標に対する成果の状況	目標を上回る参加者が研修会に出席している。 アンケート結果からは、専門知識や最新の情報が得られ理解が深まり、今後の保育に活かしていきたいという意見があった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 研修会アンケート結果を見ながら、より良い研修となるよう検討の上、実施。
--------------------	--